



大森六中だより

令和7年 3月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

現状維持は後退の始まり



六中だよりはHPからも
ご覧いただけます。



「創造性は、ただ学校生活を送り、言われたことだけをやっていても培えない。自分から行動したり、主体的に活動に取り組んだりすることで自分の世界が広がり、創造性を育めると思う。私は3年間六中で過ごして、創造性を高めることができたと思う。委員会に参加したり、シビックアクションで班長を務めたりしたことでアイディアを出すことが得意になった。また、吹奏楽部での活動やクラスの活動でみんなで努力したり練習したりしたことで、仲間と何もないところから、ものを創り出すことの楽しさを学んだ。創造性は、自分一人の力では培うことができない。人と関わり、協力することで培うことができると思う。このことを忘れずに、これからも充実した生活を送りたい。」

この文章は総合的の学習の時間「青竹タイム」での学びを振り返り、一人1ページで学年毎にまとめた冊子のうち、3年生の冊子「創造性を培う」の中に収められていた坂本小春さんの文章の一節です。

本校の総合的な学習の時間は、1年生「多様性を知る」、2年生「責任性を養う」、3年生「創造性を培う」をテーマに、平和教育、国際理解教育、防災教育、環境教育、キャリア教育などに取り組んでいます。このことにより、SDGsの達成に向けて、より多くの人を巻き込み、持続可能な社会の実現に寄与する力を育てています。冒

頭の文章は、その学びが着実に身に付いていることが実感できる文章です。

パナソニックの創業者松下幸之助氏は次のような文章を残しています。「とにかく考えてみることに、くふうしてやることに、そしてやってみることに。失敗すればやりなおせばいい。やりなおしてダメなら、もう一度くふうし、もう一度やりなおせばいい。同じことを同じままにいくら繰り返しても、そこには何の進歩もない。先例におとなしく従うのもいいが、先例を破る新しい方法をくふうすることの方が大切である。やってみれば、そこに新しいくふうの道もつく。失敗することを恐れるよりも、生活にくふうのないことを恐れた方がいい。われわれの祖先が、一つ一つくふうを重ねてくれたおかげで、われわれの今日の生活が生まれた。何気なしに見のがしている暮らしの断片にも、尊いくふうの跡がある。茶わん一つ、ペン一本も、これをつくづく眺めてみれば、何というすばらしいくふうであろう。まさに無から有を生み出すほどの創造である。おたがいにもう一度考え直そう。きのうと同じことをきょうは繰り返すまい。どんな小さなことでもいい。どんなわずかなことでもいい。きのうと同じことをきょうは繰り返すまい。多くの人びとの、このわずかなくふうの累積が、大きな繁栄を生み出すのである。」※

※松下幸之助著「道をひらく」の中の「くふうする生活」より 原文ママ

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

テキサス A&M 大学との交流

3月6日(木)にテキサス A&M 大学より6名の先生が来校し、3年生との交流授業を行いました。始めに、元生徒会役員3名が学校説明を行い、六中で学ぶSDGs達成のための活動や学びについて説明しました。防災学習、平和学習、環境学習の学び、ボランティア活動やリサイクル活動など生徒会が中心となっている活動について写真を使って発表しました。

次に、3年学級委員による報告では、災害が起き学校が避難所になったとき人の運び方や安全の守り方などを実践交えて伝え、修学旅行で被災者の話を聞いて感じたこと等を伝え「未来を創るのは自分達です」との力強い言葉に、思わず大学の先生達から拍手が起きました。最後に創造性

を培う意味を流暢な英語でスピーチをしたことに驚きと感動が沸き上がり、大学の先生方から賞賛の声があがりました。



生徒との交流後は、本校の研究について紹介し、本校がこれまで取り組んできた防災教育や平和教育をどのように系統的に実施しているのか。また、様々な教科で学習した内容を活かしてシビック・アクションにつなげる意義について説明しました。来校された先生方からも様々な質問や御意見をいただき、本校の研究をより充実したものにするためのヒントをいただきました。

今月の行事報告

学習成果発表会 —総合発表の部—

3月8日(土)に、1年間の学びを振り返る「学習成果発表会」を開催しました。まず、全校生徒が体育館に集まり、各学年の「総合的な学習の時間」における学習成果の報告会が行われました。その後、各会場に分かれて、グループごとにシビック・アクションの取組を発表しました。平和・科学・環境・食べもののいずれかのテーマについて、課題を発見し、解決に向けた手立てを考え、アクションにつなげた活動を、スライドを使用し、クイズを織り交ぜるなど分かりやすく説明する様子が見られました。

3月8日(土)に、1年間の学びを振り返る「学習成果発表会」を開催しました。



卒業記念講演会

登山家の三戸呂拓也氏に、仲間の大切さや、困難に挑戦する意味など、世界中の山に登った経験を通して学んだことについて講演していただきました。そして、「信じて続けていれば、いつか実現する可能性があります」と熱いエールが送られました。

卒業遠足

3年生は、最後の校外行事で東京ディズニーランドへ行きました。3年間で共に過ごした仲間と楽しいときを過ごし、大切な思い出を作ることができました。



3月

- 5日(水)薬物乱用防止教室
- 7日(金)3学年スポーツ大会
- 10日(月)生命の授業講演会
卒業記念講演会
- 11日(火)卒業遠足
- 13日(木)普通救命講習
- 14日(金)3年生を送る会
- 3月19日の卒業式を前に、
3年生に向けた様々な行事が行われました。